

一般社団法人福岡県学校歯科医会 News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

Vol.12

2021年5月発行

CONTENTS

来期に向かって	1
杉原会長インタビュー	2
福岡県学校歯科医会とコロナウイルスの1年とwithコロナのこれから	3
デジタル化推進臨時委員会	4
令和2年度臨時総会(第114回)	5
第32期福岡県学校歯科医会会長予備選挙	5
一般社団法人日本学校歯科医会第101回臨時代議員会	5
令和3年度事業計画・一般会計予算	6
表彰	7
表彰、物故会員、事業報告、編集後記	8

来期に向かって

会長 杉原 瑛治

昨年はコロナの影響により、各種事業イベントの中止が余儀なくされ、深刻な打撃を受けました。学校歯科健診も時期をずらして実施し、準備や感染防止する検診方法について、大変気を使って頂いたことと思います。今回の対策は、今後の歯科健診の基本となると思います。対策も少しずつ変化してきましたが、これからは口腔内を触らずにパノラマによる検診、またIoTを利用した記録方法、これらの利用で従来からの検診、記録、統計方法からも早く脱皮したいものです。この機会に、これらを前向きに検討していただくために、中央にも働き掛けていきたいと思っています。1月に入って、緊急事態宣言が発令されましたが、このレターが手元に届くころには感染拡大が終息していることを願っています。

県学歯でも来年度の事業計画において、リモート開催できるものはどんなものがあるか、その方法、事務局の対応方法も含め、考えをめぐらせています。県学歯においては課題が多いようです。知恵を絞りながら取捨選択しながら理事さんの意見を聞いています。

コロナ禍をチャンスと捉え、チェンジする気持ちをもって開拓する度量があればいいのですが…。県学歯では出来るだけ情報を速く届ける、質問にできるだけ早く答える、会員、県民、学校関係者に情報を共有する、そしてホームページを有効活用するために、臨時委員会を立ち上げ検討しています。もう間もなく開設できるよう、頑張ってもらっています。

杉原会長インタビュー

広報委員会 委員長
入江 祐彰

福岡県でも二度目の緊急事態宣言を受け、本会でも当初予定されていた研修会や講習会などが軒並み延期や中止を余儀なくされました。そのため、今号では新型コロナウイルス感染症流行前である昨年1月に行われた杉原会長インタビューの、以前のニュースレターでは紙面の都合上、止む無く割愛させて頂いた部分を改めて掲載したいと思います。

杉原会長が県学歯で活動を始めてから、40年以上経ちます。

そげんなる？（笑）3人の会長に仕えたのかな。残念なことに当時の専務がみんな亡くなっているのが非常に残念だね。そういったことが一番、心に残っていますね。

やはり健康寿命の延伸ということを最終目標に、少しでも子供たちがその気持ちを持ってもらえればと思い、小学校時代からの健康教育を行っております。

ご自身から見て、自分はどんな会長だと思いますか。

昔は自分がこうあるべきだと考えたら、その方向に進めと積極的に言っていましたけれども、周りがしっかりしてきたので任せる方向で行っています。限られた予算の中でやるべき事が多すぎてなかなか前には進まないのですけれども、もう少し即効性を出していかないといけないかなと思っています。

学校歯科医の未来についてはどう考えますか。

学校歯科医は学校において健康教育に携わなければいけないと言われますが、しっかりとした確立があまり出来ていないと思います。学校歯科医の職務は決まっていますが、もう少しわかりやすいものにして、具体的なものを示さないといけないと思っています。ただ規則で学校に行って学校保健委員会に出なきゃいけないということではなくて、学校をどれだけ行って何月は何をしなきゃいけないなど、学校歯科医としてやるべきことをはっきりとしたカリキュラムを作って決めていかないと、将来的に学校歯科医が何をしたいのかわからないようになってしまうのではないのでしょうか。

御家族の存在は励みになりますか。

子供たちが心配して来てくれるのが有難いですね。一人は北海道にいたので、なかなか帰って来られなかったのですが、もう福岡で就職するという事で帰ってきてくれました。子供たちにしょっちゅう会えるというのはいいことですね。

最後に学校歯科医へメッセージをお願いします。

いつも思うのですが学校歯科医というものは、相手が毎年変わっていくのですね。自分自身は毎年、同じことをしているのではないかというような感覚を持つと思うのですけれども、学校の子供たちは毎年変わっていていますから、自分が少しでも進歩しながら変わっていったらなと思いますね。

数年前に杉原会長が時局講演会で宗像歯科医師会館を訪れた時のことです。会長室の壁に飾られた歴代宗像歯科医師会会長の肖像写真の中に、有吉元県学歯会長の写真が入った額縁が斜めになっているのを見つけ、それを直すと「これで有吉先生も喜んでいることだろう」と言われたのがとても印象的でした。県学歯の歴史の半分近くを過ごした杉原会長の県学歯、そして学校歯科への愛情を感じた瞬間でした。杉原会長、長い間、本当にお疲れ様でした。



第22期福岡県学校歯科医会理事時の杉原会長（後列向かって左から4人目）

福岡県学校歯科医会とコロナウイルス の1年とwithコロナのこれから

副会長 平瀬 久義

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症流行で、いままで経験したこともない対応にせまられた会員の皆様も多くおられたと思います。

福岡県学校歯科医会も、会の活動においてこの1年は想定外の出来事ばかりでした。「歯・口の健康に関する図画・ポスター、標語」募集期間延長、「学校歯科医生涯研修制度基礎研修・更新研修」「福岡県学校歯科保健研究大会」「歯・口の健康づくり推進協議会」「スポーツ歯学に関する研修」の中止、関係する九州地区の「学校歯科医会役員連絡協議会」「九州地区健康教育研究大会」や全国的な「全国学校歯科保健研究大会」「全国学校歯科医協議会」など事業は、軒並み延期・中止となりました。会員のみなさまには、大変ご迷惑ご不便をおかけし申し訳ございません。

そのなかで、コロナ禍にかかわらず事業計画通り行えたのは、統計調査委員会と広報委員会に関する事業です。統計調査委員会では学校歯科健康診断結果の集計及び評価分析と報告書の作成、広報委員会ではニュースレター、会誌及びホームページの活用により、学校歯科保健に関わる重要な事項をお伝えすることができました。これらの活動はデスクワークが主体で、密になることを比較的押さえることができ、コロナ禍であってもインターネットを活用しながら、本来の事業が遂行できました。

コロナウイルス感染症が国内で発症して1年になりますが、まだまだwithコロナの時代が続くと思います。これからWeb会議の需要がますます増加するかも知れませんが、最初にWeb会議ありきでなく、いろいろな状況を見据えながらWeb活用を研究推進していかなければならないでしょう。しかし、コロナ禍がまだまだ続く現状では、先に記載しました延期や中止された事業も、インターネットを活用して実施できないか検討していく必要があると思います。

福岡県学校歯科医会では今後のwithコロナを見据え、デジタル化推進のため県下4地区からデジタル化に詳しい先生方に参加いただきデジタル化推進臨時委員会を設置しました。この委員会での協議、提言をいただき今後の県学校歯科医会の活動推進に活用していきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当会も様々な影響を受けました。

会員みなさまからは、「学校歯科健診はどの様にして行うのか?」、「学校から給食後の歯みがきをどうしたらいいか質問されたが、どう答えたらいいのか?」等のお尋ねもありました。また、当会で予定しておりました行事も多くが中止されました。

このような状況に対し、旧来の手法では対応が困難となり、理事会でも協議を重ね「デジタル化推進臨時委員会」を立ち上げる事となりました。平瀬久義副会長を中心に、福岡県学校歯科医会の機能のデジタル化を推進し、会員の利便性を向上させかつ経費節減を行い、会員の負担減になるよう委員会活動を行なっています。

現在作業を行なっているのは、ホームページをリニューアルし機能を強化させるよう準備しています。

ホームページでは、一般の方向けには学校歯科医の活動についての発信を行い、学校歯科保健活動の理解を深め、学校関係者には専用ページを設け学校での活動に利用していただけるように構成しています。

また、要パスワードの会員専用ページを設置し、各種報告、研修会等の申し込み、各種資料の閲覧などを行えるようにしました。さらに、会員の質問等に出来るだけ迅速に答えられるようなシステムも盛り込むよう、各委員が意見を出し合い協議を進めています。

将来的には、SNSや動画やWeb講習会も視野に入れ、より会員の利便性に寄与出来、アップデートし続けていけるよう委員会では議論されています。



Web会議の様子

1. 点呼 代議員31名中31名出席
2. 開会 副会長 須ノ内 茂子
3. 会長挨拶 会長 杉原 瑛治
4. 物故会員の弔慰
5. 令和2年度表彰
 - (1) 会長表彰
 - (2) 会員表彰
 - (3) 特別表彰
 - (4) 功労者表彰
 - (5) 団体表彰
 - (6) 褒賞状授与
6. 議事録署名人の指名
議長 田中 敏治 (飯塚)
西地区 高橋 眞一 (粕屋)
南地区 樋口 太郎 (浮羽)
7. 報告
監査報告 監事 三箇 正人
8. 決議事項
第1号議案 令和3年度事業計画について 可決
第2号議案 令和3年度一般会計予算について 可決
第3号議案 令和3年度基本財産積立金特別会計予算について 可決

- 第4号議案 令和3年度職員退職積立金特別会計予算について 可決
- 第5号議案 令和3年度福岡県学校歯科医会会費・賦課徴収及び日本学校歯科医会会費賦課徴収について 可決
- 第6号議案 第32期会長予備選挙 可決
9. 協議
10. 閉会 副会長 平瀬 久義



第32期 福岡県学校歯科医会会長予備選挙



令和3年3月13日、福岡県学校歯科医会会長予備選挙の投票が行われた。立候補者は届出順に平瀬久義氏、一之瀬達也氏の2名。投票に先立ち2名の候補者による演説が行われ、31名の代議員により投票が行われた。結果は平瀬久義氏27票、一之瀬達也氏4票となり、平瀬久義氏の当選が決定した。

一般社団法人 日本学校歯科医会 第101回臨時代議員会

副会長 平瀬 久義

令和3年3月24日(水) 歯科医師会館1階大ホールにて、日本学校歯科医会第101回 代議員会が開催され、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課三木忠一課長、日本歯科医師会堀憲郎会長からのご挨拶は書面でいただき、福岡県学校歯科医会からは、杉原会長が副議長として、三箇監事が日学歯監事、平瀬は日学歯理事として出席しました。

今回も第100回に引き続きコロナウイルス感染防止の観点から6月の定時代議員会の運用と同じく特例として書面決議による参加が認められ、報告事項は口答説明省略、議案に対する審議のみとし、その他会議の効率化が行われるなど、対策がとられました。

また今期事業については、コロナウイルス感染症の現状を配慮しながら、以下の具体的事業について説明がありました。

1. 学校歯科医制度創設90周年及び日本学校歯科医会法人設立50周年記念式典4月29日実施
2. 令和3年4月1日より公益社団法人への移行認定を前提に、公益法人財務3基準を念頭に、「中核事業の推進」「広報活動の充実」「加盟団体をはじめ学校歯科保健活動関係者に対する活動支援に資する助成の推進を積極展開する」

3. 新型コロナウイルス感染症拡大対策中においても大会開催意義を認識し、第85回全国学校歯科保健研究大会を東京都において初めての試みとなるWEB配信により開催する

今回臨時代議員会において以下の5議案が上程され審議採決が行われ、過半数の賛成で可決されました。

議 事

- 第1号議案 一般社団法人日本学校歯科医会 会費及び負担金に関する規則変更
- 第2号議案 一般社団法人日本学校歯科医会 入会及び退会に関する規則変更
- 第3号議案 一般社団法人日本学校歯科医会 令和3年度事業計画
- 第4号議案 一般社団法人日本学校歯科医会 令和3年度収支予算
- 第5号議案 一般社団法人日本学校歯科医会 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて

追 伸

選挙管理委員会から令和2年度会長予備選挙に関する報告があり、川本強候補が次期会長候補当選者と決まりました。

令和3年度 福岡県学校歯科医会 事業計画

1. 事業

- (1) 学校歯科保健に関する調査研究
 - 1) 歯科健康診断統計調査の推進・活用
 - 2) 私立学校における歯科保健活動の調査研究
- (2) 学校歯科保健に関する普及啓発
 - 1) 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業
 - 2) よい歯の学校表彰及び学校歯科医表彰
 - 3) 全日本学校歯科保健優良校表彰応募校の審査・推薦
 - 4) 歯・口の健康に関する図画・ポスターの募集（審査・表彰）
 - 5) 歯・口の健康啓発標語の募集（審査・表彰）
 - 6) 加盟団体の学校歯科保健事業へ協力
 - 7) 歯科健康診断方法の普及・指導
- (3) 学校歯科保健に関する研修会、研究発表等の開催
 - 1) 第26回福岡県学校歯科保健研究大会の開催
 - 2) 歯・口の健康づくり推進協議会の開催
 - 3) 福岡県学校歯科医研修会の開催
 - 4) 基礎研修及び更新研修の開催
 - 5) スポーツ歯学に関する研修（マウスガード等）
 - 6) 令和3年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会の参加
 - 7) その他必要な研修事業
- (4) 学校歯科保健関係者に対する指導助言
 - 1) 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
 - 2) 学校歯科保健関係者への指導・助言・協力
 - 3) 実務担当者会議の開催
 - 4) 加盟団体への時局講演
- (5) 学校歯科保健行政に対する協力
 - 1) 学校歯科保健教育に関して行政へ協力
- (6) 機関紙及び刊行物の発行
 - 1) 会報・特集号・ニュースレターの発行
 - 2) 広報活動の推進
- (7) 本会に顕著な業績のあった者及び団体を推挙又は表彰
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 令和3年度全国学校保健・安全研究大会への参加研修（岡山県岡山市）
- 2) 第71回全国学校歯科医協議会への参加研修（岡山県岡山市）
- 3) 第85回全国学校歯科保健研究大会への参加研修（東京都）
- 4) 第19回九州地区健康教育研究大会への参加研修（沖縄県浦添市）

2. 助成関係

- (1) 加盟団体関係事業への助成

3. 福岡県学校歯科医会運営の充実

- (1) 日本学校歯科医会・福岡県学校保健会・福岡県歯科医師会、その他関係諸団体との連携
- (2) 加盟団体との連携
- (3) 制度並びに組織機構の整備と充実（内規を含めた規則の見直し）
- (4) その他本会目的達成のための事業

4. 常任委員会活動

★学術委員会

- (1) 福岡県学校歯科保健研究大会の企画、運営
- (2) 福岡県学校歯科医研修会の企画、運営（新任研修、基礎研修、更新研修）
- (3) 学校歯科保健活動のための資料収集、作成

★普及指導委員会

- (1) 学校歯科保健事業に関する普及指導
- (2) 加盟団体の指導啓発事業への協力
- (3) スポーツ歯学（マウスガード等）についての研修会の開催
- (4) 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
- (5) 学校歯科健康診断IT化の促進

★統計調査委員会

- (1) 歯科健康診断統計調査報告書の作成
- (2) 健康診断結果の分析と対策
- (3) よい歯の学校表彰推薦校の選出

★広報委員会

- (1) 会報・特集号・ニュースレターの作成
- (2) ホームページの更新
- (3) 対外的広報活動の実施
 - ① 県学歯事業に関すること
 - ② 加盟団体、各種大会に関すること
 - ③ 関係諸団体、各種大会に関すること
- (4) 会務推進に係るデジタル化について研究・推進
- (5) 周年事業の為の資料収集・整理

令和3年度 一般会計予算

収入予算額
30,877,800円

支出予算額
30,877,800円

差引額
0円

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業活動収入計	30,877,800	31,983,000	△1,105,200
2. 事業活動支出			
会議費	3,920,000	3,840,000	80,000
事業費支出	10,180,000	11,060,000	△880,000
事務費支出	13,440,000	13,490,000	△50,000
事務所費	2,200,000	2,200,000	
負担金	200,000	200,000	
他会計への繰入金支出	548,000	290,000	258,000
事業活動支出計	30,488,000	31,080,000	△592,000
事業活動収支差額	389,800	903,000	△513,200
II. 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III. 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV. 予備費支出	389,800	903,000	△513,200
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

令和2年度

表彰おめでとうございます

第59回全日本学校歯科保健優良校

筑 紫 大野城市立大野東小学校（奨励賞）

令和2年度 一般社団法人 日本学校歯科医会会長表彰

期日：令和3年3月24日(水) 場所：日本歯科医師会館1階大ホール



小島浩一郎
(飯 塚)



田中 芳浩
(飯 塚)



服部 政彦
(粕 屋)



木下 俊則
(糸 島)



筒井 寛治
(筑 紫)



榊島 繁男
(久留米)



古賀 隆則
(久留米)



高木 武夫
(久留米)



永江 正廣
(大牟田)



三箇 正人
(八 幡)



高島 昭博
(遠賀中間)



和田 伸一
(遠賀中間)



若松 敏行
(遠賀中間)

「学校歯科医制度90周年及び法人設立50周年事業」記念文部科学大臣表彰

期日：令和3年4月29日(木) 12：00～ 場所：品川プリンスホテル アネックスタワー5階



石橋 正規
(田 川)



大塚 倉太
(飯 塚)



高橋 省治
(粕 屋)



吉川 容
(粕 屋)



井上 恭輔
(小郡三井)



野田 和秀
(久留米)



山地 正樹
(小 倉)

令和2年度 一般社団法人 福岡県学校歯科医会表彰

日時：令和3年3月13日（土）
場所：福岡県歯科医師会館5階大ホール



岩永典人(京都) 猪俣卓也(飯塚) 佐々木純二(飯塚) 吉田祐司(宗像)
服部政彦(柏屋) 石井香(糸島) 河波裕二(筑紫) 酒井龍磨(筑紫)
福岡稔(筑紫) 永尾徳彦(久留米) 山下尚之(久留米) 秋山達也(八女筑後)
岩崎繁(大川三瀬) 中村清人(大牟田) 白本光鶴(大牟田) 下村英二(大牟田)
三浦彰(小倉) 三宅正輝(遠賀中間)



中園一生(田川) 吉川英治(田川) 井上良太郎(筑紫)
安藤徹(飯塚) 福光泰介(筑紫) 寺崎茂(久留米)
幡地千秀(筑紫) 永井純一(大牟田)
小林敏(小郡三井) 坂口佳代子(小倉)
小笠原靖(八女筑後) 上田雄造(小倉)
本橋俊司(八幡)



◎叙勲 瑞宝双光章
原田一男(大川三瀬)
中島泰之(大川三瀬)
◎文部科学大臣表彰
川野未禧朗(大牟田)



日本学校歯科医会キャラクターの紹介



公 告

令和3年度 定時総会（第115回）

日 時 令和3年6月12日(土)
午後3時00分
場 所 福岡県歯科医師会館 5階
大ホール

編集後記

今期最後のニュースレターです。

広報委員会として、有益で正確な情報をタイムリーに発信していきたい、という願いのもとニュースレターを発行させていただいてきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症という全く新しい疾病に対し、正確な情報を出来るだけ早く発信する事の難しさを痛感させられました。会員の皆様には私の力不足のため情報の発信が遅くなり大変反省しております。

新型コロナウイルスに関しましては、ワクチンの接種も始まり、数年すればある程度沈静化して学校での様々な活動も再開されます。ただ現在のような状況下では、健診の際の感染予防や学校での保健指導について、我々学校歯科医はより慎重な準備や対応、学校側や保護者とのより深い意思の疎通が求められると思われま

す。さて、福岡県学校歯科医会には事務局が有り、2名の事務員さんが勤務され、会務運営の大きな担い手となっております。多種多様の職務にいつも笑顔で対応していただき、時には的確な意見も出していただいております。一会員として大変感謝しておりますし、これからも福岡県学校歯科医会の為にお力添えいただきたいと思います。

広報委員会 担当理事 白木 博繁

News Letter Vol.12

毎年3回発行
発行人 杉原 瑛治
発行所 〒810-0041
福岡市中央区大名1丁目12-43
福岡県学校歯科医会内
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L http://www.fk-gakusi.jp
印刷所 〒812-0065
福岡市東区二又瀬新町12-29
（株）大里印刷センター
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715